

日本交通心理士会にて研究論文を発表

6月11日、12日の両日、大阪市内マイドーム大阪で開催された『日本交通心理士会 第12回地区別研究会』で、弊社「安心運転訓練センター」の横山講師が、「路上走行の診断書から読み解く自損事故との関連性の分析」というテーマで論文を発表しました。

～研究の概要～

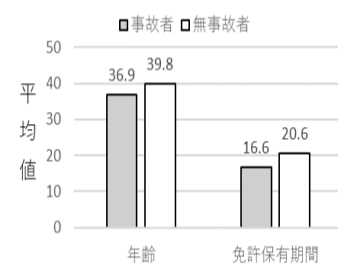
企業における交通事故の中で**自損事故**の割合が高く、事故全体を削減するにはこの自損事故の発生を抑制する必要がある。自損事故の原因が明確になり、そこにアプローチ出来れば、少しでも事故削減が出来るのではないかと、業務中に自損事故を起こしたドライバーが共通した特徴を有しているのかを中心に検証した。

仮説として検証した点

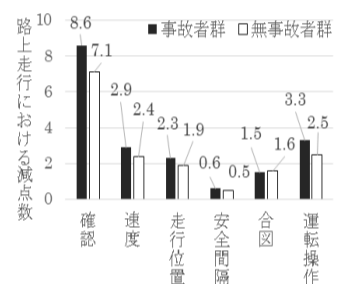
- (1) 免許保有期間が短いドライバーは自損事故を起こしやすいのか？
- (2) 自損事故者は無事故者に比べ運転行動に明らかな不備があるのか？

対象：弊社訓練センターでの路上走行チェックの運転研修を受講したA社1259名から業務中に後退による自損事故者を起こしたドライバー

上記の路上走行チェックの結果である「運転ぶり総合診断書」と、対象者の事故内容からデータを抽出し、比較検証を行った。



「事故者と無事故者の属性比較」



「対象者の群別減点項目の比較」



安心運転訓練センター
心理士補 横山講師



開会の挨拶をされる
日本交通心理学会 蓮花一己会長



大学教授をはじめ、バス会社や自動車教習所等幅広い参加者による活発な質疑応答が行われました。発表会後は、参加者(約70名)が興味のあるテーマに分かれ、討論会が行われました。様々な考え方に触れ、知見を広めることが出来た有意義な大会でした。

大阪ガスオートサービス株式会社

運転中も水分補給！



安心運転

